

自己資本の充実の状況編用語解説

用語	解説
普通株式等Tier1資本	自己資本比率規制において、最も質の高い資本とされ、具体的には普通株式、内部留保等で構成されます。その他有価証券評価差額金を含むその他包括利益も算入されます。
その他Tier1資本	普通株式等Tier1資本に次いで質の高い資本とされ、具体的には優先株式等で構成されます。
Tier2資本	劣後債、劣後ローン等及び一般貸倒引当金等で構成されます。
普通株式等Tier1比率	「普通株式等Tier1資本の額÷リスク・アセットの総額（信用リスク、マーケット・リスク、オペレーショナル・リスクの各リスク・アセットの総額をいう。以下同じ。）」で計算されます。
Tier1比率	「Tier1資本の額（普通株式等Tier1資本の額+その他Tier1資本の額）÷リスク・アセットの総額」で計算されます。
総自己資本比率	「総自己資本の額（Tier1資本の額+Tier2資本の額）÷リスク・アセットの総額」で計算されます。
エクスポージャー	リスクにさらされている資産のことで、貸出、有価証券等です。与信取引先の属性又は資産の種類に応じて、事業法人向けエクスポージャー、リテール向けエクスポージャー、株式等エクスポージャーなどに区分します。
パラメータ	内部格付手法に基づく信用リスク管理及び信用リスク・アセット算出に用いるPD、LGD、EAD等のことです。これらのパラメータは、銀行が自行で過去の実績データ等に基づき推計しますが、監督当局設定値として予め定められたものもあります。
デフォルト	債務者が債務不履行の状態にあることを指し、当行では自己資本比率告示に従い下記のいずれかに該当した場合に、自己資本比率算出で用いるデフォルトと判定しています。 ①債務者区分が「要管理先」以下になった ②債権額に対し一定水準以下の価格で債権売却を行った ③第三者による代位弁済が発生した ④3か月以上の延滞になった
EAD	デフォルト時におけるエクスポージャーの額のことです。
PD	1年間に与信先がデフォルトする確率のことです。
LGD	EADに対するデフォルトしたエクスポージャーに生じる経済的損失の割合です。
特定貸付債権	プロジェクト・ファイナンス、オブジェクト・ファイナンス、コモディティ・ファイナンス及び事業用不動産向け貸付を総称していいいます。
購入債権	ローン・パーティシペーションや貸出指名債権譲受など、第三者から譲り受けたエクスポージャーのことです。
証券化エクスポージャー	原資産に係る信用リスクを優先劣後構造の関係にある2つ以上のエクスポージャーに階層化し、その一部又は全部を第三者に移転する性質を有する取引（証券化取引といいます）に関するエクスポージャーのことです。ただし、特定貸付債権に該当するものは除外します。
再証券化エクスポージャー	原資産の一部又は全部が証券化エクスポージャーである証券化取引に係るエクスポージャーのことです。

用語	解説
オリジネーター	直接又は間接に証券化取引の原資産の組成に関わっている者をいいます。
証券化目的導管体	証券化取引の原資産の受け皿として組織された法人、信託などをいいます。
信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー	投資信託や投資事業組合出資金など、複数の資産により構成され、信用リスク・アセットの額を直接に計算することができないエクスポージャーのことです。
派生商品（デリバティブ）	有価証券や通貨、金などの金融商品（原資産）から派生した商品で、例えば先物、スワップ、オプションといったものがあります。原資産のリスクを原資産と切り離して取引することを可能としています。
クレジット・デリバティブ	企業の信用リスクを売買するデリバティブのことです。デリバティブの買い手から売り手に信用リスクが移転します。
相対ネットティング契約	派生商品取引等において、当事者間の合意により相対する債権債務を相殺する契約です。
CVAリスク	派生商品取引において、取引相手方の信用力の低下に伴って派生商品の時価が低下し、損失を被るリスクのことです。
RCSA	「リスク管理自己評価」の略で、自部署においてリスクを洗い出し、それに対するコントロール状況を評価し、残存リスクの状況を自ら把握する手法を指します。
VaR	「バリュー・アット・リスク」の略で過去のデータを統計的に分析し、将来の一定期間（保有期間）において一定確率（信頼区間）で起こりうる最大の損失額を計測するリスク管理手法です。VaRの算出結果は、保有期間、信頼区間、データの計測手法によって異なります。
アウトライヤー基準	アウトライヤー基準とは、上下に一定の「標準的な金利ショック」を与えた場合の、銀行勘定の資産・負債・オフバランスシート項目のネットの経済価値の低下額（いわゆる「金利リスク量」）を算出し、それが自己資本の20%を超えるか否かという基準です。
BPV	BPV（ベース・ポイント・バリュー）とは、金利が1ベース・ポイント（100分の1%）変化した場合における貸出や債券などの現在価値の変化額を表す金利リスク指標の1つです。
ヒストリカル・シミュレーション法	過去に実際に起きた市場変動を現在のポートフォリオに適用して得られる損失額をもとに、VaRを算定する手法です。
コア預金	流動性預金のうち、実態としては引き出されることなく長期間銀行に滞留する預金をコア預金といい、コア預金の額及び満期を合理的に推計するモデルをコア預金内部モデルといいます。当行では、預金種別や地域別の過去の預金残高推移を統計的に解析し、推計を行っております。
レバレッジ比率	「Tier1資本の額÷総エクスポージャーの額」で計算されます。リスクベースの自己資本比率に対する補完的指標となります。